

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)	開始 年 度	平成2年度
----------------	--	-----------	-------

団 体 名	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団
-------	-----------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	天候に左右されないパイピング式スケートリンクを競輪場内に開設し、市民や競技団体にスケート競技を実施する場を提供している。
目 的	(目 的) 当該事業の補助により、道南唯一のスケート場を開設することで、市民の冬期間の運動不足解消と冬季スポーツの普及および生涯スポーツの振興を図る。
・ 効 果	(効 果) 道南唯一のスケート場の開設により、スケート競技の普及・振興、競技人口の拡大、競技力の向上等を図ることができるとともに、冬季スポーツの振興および市民の健康増進などに寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	雑収入			計
		市	その他					
収 入	26	63,818		7,597	2			71,417
	27	61,527		7,346	1			68,874
	28	62,985		7,492	2			70,479
	29	62,358		6,190	588			69,136
	30	60,869		6,542	54			67,465
支 出	年 度	事業費						計
	26	71,417						71,417
	27	68,874						68,874
	28	70,479						70,479
	29	69,136						69,136
	30	67,465						67,465

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)
----------------	--

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性（明確な公益性があるか） ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	子どもから大人まで気軽に楽しむことができる市民ニーズが高い事業であり、余暇の運動不足解消をはじめ、アイスホッケーやフィギュアスケートなどの冬季競技の振興にも貢献している。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	道南唯一のスケート場であり、数少ない冬季スポーツ競技の振興に寄与している事業であるため必要である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	施設の性質上、補助金なしでは実施困難な事業であるが、事業収入の確保や経費の見直し等節減に努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	財団が効率的な運営に努めており、補助することが最適であるが、老朽化に伴う設備更新に多額の経費を要するため、事業の継続について検討が必要である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	スケート場の開設にあたっては、市と財団が協議を行い、施設の管理運営等に不足する経費は市が補助することでスタートした事業であり、今後も運営経費の縮減等を要請するなかで補助を継続する必要がある。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	当スケート場は仮設式構造のため、施設の組立・解体にも相当の経費を要するなど、入場料収入だけでは施設運営が困難であり、今後も補助が必要である。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)
----------------	--

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

開設日数, 入場者数で効果を測定する。

(達成状況)

事項	開設日数	入場者数
H 2 9 年度実績	61日	26,536人 (うち, 無料 15,236人)
H 3 0 年度実績	63日	27,583人 (うち, 無料 15,152人)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評 価)

☐ 十分効果をあげている
☒ 一定の効果をあげている
☐ 効果が疑問である
☐ その他

(理 由)

H 2 9 年度と比較し利用者が増え, 3 万人近くの入場者数を得ていることから, 冬季スポーツ振興に一定程度の効果があったといえる。

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続
☐ 見直したうえで補助を継続
☒ 廃止
☐ その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

函館市が事業主体となり整備を行うため

(廃止の時期)

令和元年度

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和元年度

☒

終期到来により廃止

☐

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)